

外交研究会

60年前の鹿島平和研究所設立以来600回を超えて続いてきた弊研究所の旗艦研究会は、本年度漸くCOVID-19以前の月一回開催のペースに復帰した。参加者の便宜のため、会場も赤坂周辺のホテルの同じ宴会場で固定した。

今年度は、弊研究所の研究会の成果発表が12回中5回（灰色で表示）を数えた。

回	開催月日	講 師	演 題
629	2025年 4月15日	柳秀直 前駐ドイツ大使	難局に直面するドイツの政権交代：メルツ次期政権はドイツと欧州の安保・経済上の危機を乗り越えられるか
630	2025年 5月27日	宮島昭夫 前駐ポーランド大使	ウクライナ戦争と欧州の安全保障：トランプ2.0と日本の課題
631	2025年 6月19日	岩田一政 日本経済研究センター・理事長	トランプ政権下の日本経済・世界経済の行方
632	2025年 7月11日	関山健 京都大学大学院総合生存学館・教授	一人当たりGDPトップ10の小国に学ぶ日本が豊かになるヒント
633	2025年 9月11日	田中秀明 明治大学公共政策大学院・教授	人口半減ショック 地域の新戦略：賢く縮み乗り越える
634	2025年 10月3日	藤本龍児 帝京大学文学部社会学科・教授	トランプ2.0と世界の宗教復興
635	2025年 11月6日	津上俊哉 津上工作室・代表	パックス・シニカは有り得るか？：中国は覇権国になれるか--経済的視点から

回	開催月日	講 師	演 題
636	2025年 11月25日	森信茂樹 鹿島平和研究所・評議員 東京財団・シニア政策オフィ サー	給付付き税額控除実現に向け て
637	2025年 12月11日	竹中千春 元立教大学法学部教授 大岩央 PHP 総研・主任研究員	インド対外政策の動揺と日印 関係： 2025年カシミール 危機、米印緊張、中印接近を 巡って ソフトパワーから考える日印 関係の未来

回	開催月日	講 師	演 題
638	2026年 1月27日	梅川健 東京大学大学院法学政治学研 究科・教授	第二次トランプ政権と権力分 立制の現在
639	2026年 2月12日	石井正文 元駐インドネシア大使 兼原信克 鹿島平和研究所・評議員 笹川平和財団・常務理事	自由主義国際秩序の将来研究 会： 欧州訪問報告
640	2026年 3月23日	関山健 京都大学大学院総合生存学館 ・教授	経済安全保障と重要インフラ 防護： 米英豪の政策比較と 日本への示唆